

令和3年度

事業報告書

特定非営利活動法人全国脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会

1 事業の成果

令和3年度は前年同様コロナ感染の影響で大幅に活動が制限されたが、オンラインでの開催が徐々に定着し、医療講演会・相談会、友の会主催の交流会に加え、元気Caféとして講師を交えた小規模なオンライン交流の場も実施することができた。感染拡大の落ち着いた時期には会場での交流会も数回実施できた。患者・家族への情報発信として、会報は隔月で6回発行、ホームページも頻回に更新し情報提供を行った。出版物の普及にも努めた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
支援事業	患者を中心にその家族と介護・医療・その他の関係者による交流会を開催。 (コロナの影響で集会形式は3月、他はオンライン開催)	令和3年5月 令和3年7月 令和3年11月 令和4年1月 令和4年3月	東京港区 東京都障害者福祉会館およびオンライン	延べ50人	集会形式: 都内と近郊、並びに地方都市の方々、オンライン: 全国の患者・家族、医療・福祉関係者等	延べ出席者約100人	60
支援事業	フレッシュの会を開催。(コロナの影響が大きかったが、6月に分身ロボットCaféの見学を実施、12月はオンライン開催)	令和3年6月 令和3年12月	オンライン	延べ15人	全国の患者・家族、医療・福祉関係者、一般人	延べ出席者約20人	12
支援事業	今年度から患者・家族が関心のあるテーマを決め、専門家の講演や交流を図るイベントとして『SCD・MSA 元気Café』を開催。8月は講師に[]を迎え、質問回答には[]、発声トレーニングは[]担当いただいた。3月は、[]「ハンディと付き合いながら」をテーマに講演を実施。	令和3年8月 令和4年3月	オンライン	延べ15人	全国の患者・家族、医療・福祉関係者、一般人	延べ出席者約50人	42

相談事業	友の会の日常業務として、本疾患に関する情報を収集し患者・家族からの電話・面接による生活相談の実施。会員の入退会業務や電話による医療相談を実施した。	毎週火・木・金曜日 10～15 時に理事と事務局員が対応。	当会事務所	延べ 450 人	全国の脊髄小脳変性症・多系統萎縮症患者・家族	患者数は約 40000 人	2979
啓蒙啓発事業	医療講演会・相談会はコロナの影響で 2 年連続オンライン開催となった。講師に■■■■■をお迎えし、演題「脊髄小脳変性症・多系統萎縮症の病態、治療、最近の進歩」で講演会を、その後講師と医療顧問の先生方による医療相談会を実施し、患者・家族からの事前質問回答して頂いた。	令和 3 年 9 月	オンライン	13 人	全国の患者・家族、医療・福祉関係者、一般人	参加者 261 名	168
情報提供事業	会報の発行 会報は「友の会ニュース」として障害者団体定期刊行物協会の審査を受け定価 450 円(会費を含む)で隔月に発行した。その内容は、本疾患に関する医療情報、友の会の活動内容、会員からの投稿等で紙面の改善を図り、情報交流の手段としての役割を果たした。	4 月から隔月に発行	当会事務所	延べ 40 人	患者・家族、医療・福祉関連者、一般人	1700 人	1480
情報提供事業	刊行図書販売 「Q&A172」を全国の患者、家族へ書籍を普及した。 「脊髄小脳変性症・多系統萎縮症のリハビリテーション」の書籍を普及した。	4 月から	当会事務所 当会事務所	延べ 15 人 延べ 15 人	患者、家族、医療・福祉関連者、一般人		745
情報提供事業	ホームページによる情報発信。医療講演会、交流会の開催情報などを提供した。	4 月から	当会事務所	延べ 10 人	患者、家族、医療・福祉関連者・一般人		80
支援事業	関係団体との連携 日本難病・疾病団体協議会(JPA)主催の国会請願、各政党への陳情行動へ参加し、同協議会が実施した来年度予算や諸要求実現の	令和 2 年 10 月～令和 3 年 2 月		3 人	署名数 302 名 募金 59,000 円		50

	国会請願署名活動で、全国の患者・家族から多くの署名と募金の協力を頂いた。						
各地患者会の連絡と支援事業	各地患者会が人手不足、資金不足などで実施できない医療講演会、交流会などの事業の支援。日常的な情報提供や相互連絡。	31年3月 随時		8人	全国各地の患者会 33か所		911

令和3年度 活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人全国脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会

（単位：円）

科	目	金 額	小計・合計
【A】 経 常 収 益			
1	受取会費		
	正会員受取会費	3,518,520	
	賛助会員受取会費	350,000	3,868,520
2	受取寄附金		
	受取寄附金	6,067,334	6,067,334
3	受取助成金等		
	受取助成金	1,440,939	1,440,939
4	事業収益		
	脊髄小脳変性症・多系統萎縮症患者・家族のための情報提供事業収益	643,830	643,830
5	その他の収益		
	受取利息・雑収入	262,017	262,017
経 常 収 益 計			12,282,640
【B】 経 常 費 用			
1	事業費		
	(1) 人件費		
	給料手当	2,005,205	
	(2) その他経費		
	印刷製本費	1,472,249	
	HP保守・開発費	80,273	
	会議費	168,302	
	旅費交通費	226,538	
	家賃	1,381,050	
	通信運搬費	335,759	
	減価償却費	0	
	水道光熱費	76,847	
	消耗品・備品・雑費	780,551	
事業費計			6,526,774
2	管理費		
	(1) 人件費		
	給料手当	172,897	
	(2) その他経費		
	会議費	30,950	
	旅費交通費	47,272	
	家賃	153,450	
	通信運搬費	37,307	
	減価償却費	0	
	水道光熱費	8,538	
	消耗品・備品・雑費	620,150	
管理費計			1,070,564
経 常 費 用 計			7,597,338
当 期 経 常 増 減 額 【A】－【B】・・・①			4,685,302
【C】 経 常 外 収 益			
	固定資産売却益	0	
経 常 外 収 益 計			0
【D】 経 常 外 費 用			
	返還寄附金	3,000,000	
経 常 外 費 用 計			3,000,000
当 期 経 常 外 増 減 額 【C】－【D】・・・②			▲ 3,000,000
税 引 前 当 期 正 味 財 産 増 減 額 ①+②・・・③			1,685,302
	法人税、住民税及び事業税・・・④		70,000
	前期繰越正味財産額・・・⑤		5,950,254
次 期 繰 越 正 味 財 産 額 ③－④+⑤			7,565,556

令和3年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 全国脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会

(単位：円)

科	目	金額	小計・合計
【A】資産の部			
1	流動資産		
	現金預金	7,641,681	
	流動資産合計・・・①		7,641,681
2	固定資産		
	(1)有形固定資産		
	工具器具備品	1	
	固定資産合計・・・②		1
【A】資産合計 ①+②			7,641,682
【B-1】負債の部			
1	流動負債		
	未払法人税等	70,000	
	預り金	6,126	
	流動負債合計・・・③		76,126
2	固定負債		
	固定負債合計・・・④		0
負債合計 ③+④			76,126
【B-2】正味財産の部			
	前期繰越正味財産額	5,950,254	
	当期正味財産増減額	1,615,302	
正味財産合計			7,565,556
【B】負債及び正味財産合計 【B-1】+【B-2】			7,641,682

令和3年度 財産目録

特定非営利活動法人全国脊髄小脳変性症・
多系統萎縮症友の会

(単位：円)

科	目	金額	小計	合計
【A】資産の部				
1 流動資産				
現金預金				
手元現金		66,509		
みずほ銀行普通預金		7,563,484		
みずほ銀行普通預金（ふれあい）		381		
ゆうちょ銀行普通貯金		11,307		
ゆうちょ銀行振替口座		0		
流動資産合計・・・①			7,641,681	
2 固定資産				
(1) 有形固定資産				
工具器具備品		1		
固定資産合計・・・②			1	
【A】資産合計 ①+②				7,641,682
【B-1】負債の部				
1 流動負債				
未払金				
未払法人税等		70,000		
預り金				
源泉徴収税		6,126		
流動負債合計・・・③			76,126	
2 固定負債				
固定負債合計・・・④			0	
【B-1】負債合計 ③+④				76,126
【B-2】正味財産合計 【A】－【B-1】				7,565,556

令和3年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人 全国脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- ☒ 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
☒ 各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名 どちらかに ○	(フリガナ) 氏名		前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
1	○ 理事・監事	ナカムラモトコ		令和3年4月1日	年 月 日
		中村 元子		～ 令和4年3月31日	年 月 日
2	○ 理事・監事	サクマハヤト		令和3年4月1日	年 月 日
		佐久間 隼人		～ 令和4年3月31日	年 月 日
3	○ 理事・監事	ヤマザキタケシ		令和3年4月1日	年 月 日
		山崎 剛		～ 令和4年3月31日	年 月 日
4	○ 理事・監事	カリタミツオ		令和3年4月1日	年 月 日
		刈田 光夫		～ 令和4年3月31日	年 月 日
5	○ 理事・監事	フクダトシオ		令和3年4月1日	年 月 日
		福田 敏男		～ 令和4年3月31日	年 月 日
6	○ 理事・監事	イワサキケイスケ		令和3年4月1日	年 月 日
		岩崎 恵介		～ 令和4年3月31日	年 月 日
7	○ 理事・監事	フルサワカツアキ		令和3年4月1日	年 月 日
		古澤 克明		～ 令和4年3月31日	年 月 日
8	○ 理事・監事	ワタナベタイチ		令和3年4月1日	年 月 日
		渡辺 太一		～ 令和4年3月31日	年 月 日
9	○ 理事・監事	イチカワショウタ		令和3年4月1日	年 月 日
		市川 勝太		～ 令和4年3月31日	年 月 日
10	○ 理事・監事	マルヤマヒロミ		令和3年4月1日	年 月 日
		丸山 裕美		～ 令和4年3月31日	年 月 日

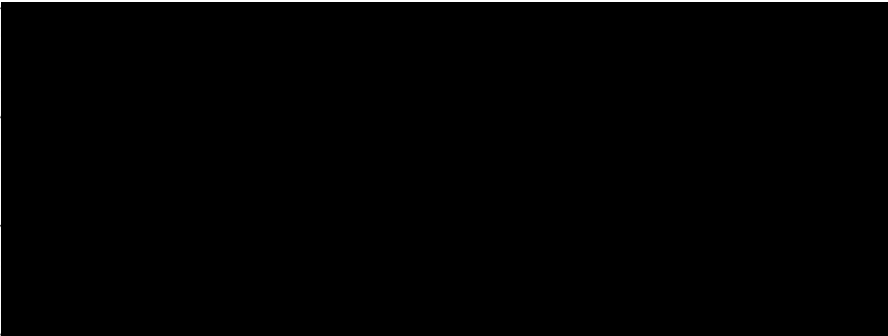
事業報告用

	役名 どちらかに ○	(フリガナ)		前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名			
11	理事・監事	ミウラユウコ		令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		三浦 裕子			
12	理事・監事	ナカヤママサヨシ		令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		中山 雅義			
13	理事・監事	シオタヨシヒサ		令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		塩田 義久			
14	理事・監事	ヨシムラオサム		令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		吉村 治			
15	理事・監事	ムラタアキヒロ		令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		村田 明弘			

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人 全国脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会

	氏 名	
1	中村 元子	
2	佐久間 勇人	
3	山崎 剛	
4	刈田 光夫	
5	福田 敏男	
6	岩崎 恵介	
7	古澤 克明	
8	渡辺 太一	
9	市川 勝太	
10	丸山 裕美	
11	三浦 裕子	
12	中山 雅義	

13	塩田 芳久	
14	吉村 治	
15	村田 明弘	